

交通誘導警備員算出根拠（市道船越本線）

工 種	計 算 式		備考
舗 装 工			
アスファルト舗装工	下層路盤(1層目)	$45.1 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	下層路盤(2層目)	$45.1 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	上層路盤	$45.1 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	不陸整正	$572.2 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	表層	$617.2 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
道路付属施設工			
区 画 線 工	区画線・黄 実線・W=15cm	$6.0 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
構 造 物 撤 去 工			
構造物取壊し工	舗装版切断	$136.6 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
	舗装版破碎	$617.2 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	

警備員 A	$1 \text{ 人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人
警備員 B	$2 \text{ 人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人

※作業日数の計算は、少数第二位を四捨五入し少数第一位止めとする。
 ※交通誘導警備員の人数は、少数以下を切り上げ整数止めとする。

交通誘導警備員算出根拠（市道切畠米子線）

工 種	計 算 式		備考
舗 装 工			
アスファルト舗装工	不陸整正	$237.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	表層	$237.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	コンクリート	$0.135 \text{ m}^3 \div \text{m}^3 / \text{日} =$	
道路付属施設工			
区 画 線 工	区画線・黄 実線・W=15cm	$3.0 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
構 造 物 撤 去 工			
構造物取壊し工	舗装版切断	$7.1 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
	コンクリート切断	$1.2 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
	舗装版破碎	$237.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	コンクリート取壊	$1.1 \text{ m}^3 \div \text{m}^3 / \text{日} =$	

警備員 A	$1 \text{ 人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人
警備員 B	$2 \text{ 人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人

※作業日数の計算は、少数第二位を四捨五入し少数第一位止めとする。
 ※交通誘導警備員の人数は、少数以下を切り上げ整数止めとする。